

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海・水田作畑作部会
平成24年度 特産作物研究会 開催要領

関東東海・水田作畑作部会 部会長
中央農研 研究領域長 渡邊好昭
関東東海・水田畑作部会 副部会長
作物研 研究領域長 根本 博

1. 趣 旨

地域条件・資源を生かした特産作物による6次産業化は、期待が大きく、各県・地域において盛んに取り組まれ、品種の開発・導入や製品加工といった技術開発へのニーズも高まっている。一方、特産作物は生産・加工・流通を含めた地域研究体制が求められるが、研究情報を共有できるネットワークは十分に整備されていない。地域農業における特産作物の技術開発を有効かつ円滑に推進するためには、現地事例に基づいた検討を行うとともに、関係各県における特産作物の現状と問題点等について情報を交換する必要がある。

本年度は株式会社椿、桜椿園、東京都島しょ農林水産総合センターの協力により東京都大島町における椿の生産・流通・加工および観光を事例とし、特産作物による6次産業化、地域活性化に向けた研究のあり方について、研究会を開催し、検討を図る。

2. 開催場所 大島町役場（一階大会議室）

〒100-0101 東京都大島町元町1丁目1番14号

3. 開催日時 平成24年9月24日(月) 13:00～9月25日(火) 12:00

4. 検討事項「新技術を活用した特産作物による6次産業化」

1) 現地検討会 9月24日 13:00～

- ① 世界に誇る椿の品種 桜椿園
- ② 国産の種のみを使った「生の椿油」 株式会社 椿
- ③ 椿生産者圃場
- ④ 大島の農業研究 東京都島しょ農林水産総合センター

2) 研究会 9月25日 9:00~12:00

①「特産作物の持続的生産と発展に向けて」

岩手大学 名誉教授 星野 次汪

②「特産作物を売ること」

独立行政法人農研機構 作物研究所

上席研究員 大潟 直樹

③「大島の農業 現在・過去・未来」(仮題)

大東京都島しょ農林水産総合センター大島事業所

普及員 嶋田 竜太郎

④「宮沢賢治の志に基づく経営(農業、芸術、経営の三位一体)」

株式会社 椿

代表取締役社長 日原 行隆

3) 総合討論

5. 参集範囲

関東・東海地域における公立試験研究機関・行政・普及関係者、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、中央農業総合研究センター、作物研究所、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

作物研究所 畑作物研究領域 大潟直樹

〒305-8518 茨城県つくば市観音台 2-1-18

TEL 029-838-8393 FAX 029-838-8475 E-mail:naokio@affrc.go.jp

7. その他

参加申し込み、その他については別途事務局より事務連絡する。